



■会長挨拶 平林辰夫君

今日の会長挨拶は、7月から始まるレジ袋の有料化にちなんで、「ESG投資」と「エシカル消費」について考察してみたいと思います。ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取ったものです。今日、企業の長期的な成長のためには、ESGが示す3つの観点が必要だという考え方が世界的に広まってきています。一方、ESGの観点が薄い企業は、大きなリスクを抱えた企業であり、長期的な成長ができない企業だということを意味します。ESGの観点は、企業の株主である機関投資家の間で急速に広がってきています。投資の意思決定において、従来型の財務

情報だけを重視するだけでなく、ESGも考慮に入れる手法は「ESG投資」と呼ばれています。ESGと似た概念にSRI(社会的責任投資)という言葉がありますが、最近ではESG投資のほうがより使われる傾向にあります。ESG投資は、他にも「責任投資(Responsible Investment)」「持続可能な投資(Sustainable Investment)」など様々な呼称がありますが、意味は同じです。ESG投資という言葉が使われるようになった背景には、2010年頃からESG投資に対する機関投資家の理解が大きく変わってきたということがあります。ESG投資より前にSRI(社会的責任投資)という言葉がよく使われていた時代には、SRIと言うと、何か通常の投資とは違う、強く社会や環境を意識した倫理的な投資手法だ、と受け止められていました。当時SRIには否定的な見方も多く、社会や環境を意識した投資は財務リターンが低く、有効な投資手法ではないと見る向きが一般的でした。しかし、昨今、社会や環境を意識した投資は、同時に財務リターンも高く、また投資リスクが小さいという実証研究が大学研究者や金融機関実務者から発表されるようになりました。この新たな考え方は、企業経営においても「サステナビリティ」という概念が普及し、社会や環境を意識した経営戦略は、企業利益や企業価値向上に繋がると言われるようになった動きと対を成しています。

■理事会報告・幹事報告 小松賢三君

- 本日の例会は通常例会1年を振り返って委員長報告のつづきです。
- 6月4日(木)に茅野市・諏訪市への消毒用ジェルのご贈呈式がありました。
茅野市には会長・幹事が、諏訪市には会長・副会長が出席しました。
- 6月7日に諏訪大社の御田植祭があり副会長が出席しました。
- 岡部憲一会員から退会届が提出され、退会が承認されました。
次年度のクラブ管理運営委員会副委員長の代わりの方の人数をお願いいたしました。
- 事務局で使用しているパソコン更新の見積が提出され承認されました。
- 今後の予定
 - 6月16日(火) 会長杯ゴルフ、さよならパーティー
 - 6月19日(金) 諏訪グループ会長幹事会
 - 6月23日(火) 指定休日

■出席報告・ニコニコBOX

出席 26名(出席率 72.0%)

ニコニコBOX12名、ペナルティー1名より 19,000円

平林辰夫会長

「最終コーナーを回りました。あと2回よろしくお願ひ致します。」

小笠原弘三君

「新たな事務所 選択代行・コインランドリーを6月13日(土)オープンします。」

